



## 校長挨拶



本校は、岩手県沿岸北部の久慈市にある、知的障がいと肢体不自由を教育の対象とした特別支援学校です。令和6年度は、68名(小学部24名、中学部14名、高等部30名)の児童生徒と83名の教職員で教育活動をスタートしました。寄宿舎では29名の児童生徒が生活しています。

本校では、「明るく 強く 生き生きと」の校訓のもと、児童生徒の障がいの状態や特性等に応じた教育実践を通して、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、健康で明るくたくましく生きる人間を育成することを目指しています。

小学部では様々な経験を通して興味関心を広げ、中学部では自己理解を深めてコミュニケーション能力と行動力を養い、高等部では社会生活に必要な知識・技能の向上を図るとい、小中高の学びの連続性を大切にしながら、指導・支援の充実に努めています。

本校は、昭和54年に久慈養護学校として開校し、平成21年に現在の校名「久慈拓陽支援学校」に変更しました。拓陽の「拓」は、開拓の精神が息づいている侍浜地区で、厳しい寒さや、やませにも負けずに輝く人生を拓いてほしいとの願いが込められています。拓陽の「陽」は、暖かさや明るさ、希望を象徴しています。この拓陽精神を継承・向上させて、地域の方々や関係機関のみなさんの協力をいただき、教職員と保護者が一丸となって、「チーム拓陽」として進んで参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月 校長 石川えりか

